

2015 年 9 月 8 日

東日本電信電話株式会社
株式会社廣濟堂
株式会社東急文化村
日本電信電話株式会社

Bunkamura・NTT 技術史料館での
「ミュージアム ICT ショーケース」の開催について

東日本電信電話株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:山村 雅之、以下「NTT 東日本」)、株式会社廣濟堂(本社:東京都港区、代表取締役社長:長代 厚生、以下「廣濟堂」)は、株式会社東急文化村(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:西村 友伸、以下「東急文化村」)、および日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鶴浦 博夫、以下「NTT」)の協力のもと、来館者サービスから業務用途まで幅広い ICT 利用シーンをラインナップした「ミュージアム ICT ショーケース」を 2015 年 9 月 9 日(水)から開催し、ミュージアム(美術館・博物館)での ICT 活用のモデルケースとして皆さまに体験いただける機会を提供いたします。

1. 開催に至った背景

本年 5 月、地方創生や 2020 年に向けた訪日外国人対応等を背景に、政府により「文化芸術の振興に関する基本的な方針^{※1}」が策定され、ミュージアム業界においても更なる振興が期待される中、同業界において ICT 技術が果たす役割は、今後更に大きくなっていくものと見込まれます。また、総務省では「全国的な Wi-Fi 環境の整備に向けた方策^{※2}」が取りまとめられ、公共施設における無料 Wi-Fi 整備の機運が高まる一方、博物館での無料 Wi-Fi の整備は、現状 11%程度に留まっております。

※1 平成 27 年 5 月 22 日 文化庁 報道発表資料「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第 4 次基本方針)の閣議決定について」

※2 平成 27 年 4 月 20 日 総務省 地方のポテンシャルを引き出すテレワークや Wi-Fi 等の活用に関する研究会(第 3 回) 配布資料「全国的な Wi-Fi 環境の整備に向けた方策の概要」

2. 「ミュージアム ICT ショーケース」の概要

このような背景のもと、NTT 東日本と廣濟堂は、東急文化村が運営する複合文化施設「Bunkamura」および、NTT が運営する博物館「NTT 技術史料館」において、全館に光回線と Wi-Fi 環境を整備し、無料 Wi-Fi インターネットに加え、貸し出しタブレットによる作品ガイドやクラウド型サイネージ、業務用インターネット環境など、幅広い ICT 活用シーンをラインナップした「ミュージア

ム ICT ショーケース」(以下、ショーケース)を開催し、ミュージアム関係者や一般来館者の皆さまに気軽に体験いただける機会を提供いたします。

また、NTT 東日本と廣済堂は、ショーケース開催期間中、Bunkamura において、ミュージアム関係者向けのショーケース体験会を実施し、ICT 活用のポイントや運用の工夫点などについて紹介する予定です。

<開催場所・内容>

(1)Bunkamura(東京都渋谷区道玄坂 2-24-1)

2015 年 9 月 9 日(水)～2015 年 12 月 7 日(月)^{※3}

※3 Bunkamura ザ・ミュージアム「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展 開催期間中

■来館者向けサービス(ミュージアムの新たな楽しみ方・外国人観光客対応)(別紙 1)

・美術館での展覧会タブレットガイド(別紙 2)

Bunkamura ザ・ミュージアムは、幅広い世代のお客さまにご利用いただいておりますが、特に、毎週金曜日、土曜日の夜間開館は、30～40 代の方々からご好評をいただいております。ショーケース期間中に Bunkamura ザ・ミュージアムにて開催される「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展では、この夜間開館の時間帯を活用して、新しい ICT サービスに感度が高い方々に向け、タブレットガイドを提供します。^{※4}

貸し出しタブレットで、テキスト&画像付きの音声ガイド、作品にまつわる館内限定コンテンツ等を視聴でき、作品をより深く身近に味わっていただけます。なお、貸し出しタブレットでは、ミュージアム内に設置されたビーコンにより、一部コーナーの館内限定コンテンツをお知らせする予定です。

※4 タブレットガイドの貸出時間は、9 月 25 日(金)～12 月 7 日(月)の毎週金曜日、土曜日の 18:00～21:00

・館内ポータルサイトと無料 Wi-Fi

Bunkamura 館内主要エリアで、来館者の端末(スマートフォン、タブレット端末等)からアクセスできる館内情報のポータルサイトを提供します。また、来館者が館内ポータルサイトだけでなく無料でインターネットに接続できる Wi-Fi 環境をご利用いただけます。

・来館者向けサイネージ

Bunkamura 館内のショーケース特設コーナーに設置されたサイネージにおいて、「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展の紹介動画や、館内ポータルサイト等の施設情報を案内します。また、災害時においては、多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)対応の避難経路案内を表示します。

■業務利用（別紙1）

・Bunkamura スタッフ向け Wi-Fi

コンサートホール、劇場など、Bunkamuraの施設運営に関わるスタッフ向けに、業務で利用できる Wi-Fi 環境を提供します。

(2)NTT 技術史料館(東京都武蔵野市緑町 3-9-11)

2015 年 10 月から常設予定

■来館者向けサービス(ミュージアムの新たな楽しみ方・外国人観光客対応)

・タブレットガイド

NTT 技術史料館では、周辺の自治体が主催するイベントとの連携や、夏休み体験型子ども科学教室の開催などにより、来館者数の拡大と多様化が進んでいます。

様々な世代の来館者が自由に展示を見て回りながら楽しく電気通信に関する理解を深められるよう、タブレットを貸し出し、展示の解説映像等が視聴できるナビゲーションを提供します。

・館内ポータルサイト

NTT 技術史料館全館において、来館者が貸し出しタブレットからアクセスできる館内情報のポータルサイトを提供します。館内ポータルサイトでは、NTT 技術史料館の概要やおすすめの見学コース、バスの時刻表、アンケートなどを提供します。

・NTT研究所の最先端技術のトライアル

NTTでは2020年に向けて、海外を含めた様々な方々の状況・意図を理解し、スマートに働きかけ、新しい体験を提供できる技術の研究開発を進めています。それらのNTT研究所の最先端の研究成果と、NTT 技術史料館のタブレットガイドを組み合わせたトライアルを、本年度内に実施予定です。

3. 各社の役割

・NTT 東日本

ショーケースを支える主要なサービスを提供し、各社と協業してミュージアムでの ICT 活用シーンを推進します。

・廣済堂

ミュージアムへのシステムソリューション実績および、自社で運用するミュージアムカフェアプリの提供実績を活かし、利用シーン創出を支援します。今後は、NTT 東日本と連携し、全

国ミュージアムへのワンストップでの ICT 活用支援を推進します。

・東急文化村

Bunkamura 施設内でミュージアム ICT ショーケースを運営します。ミュージアムだけでなく、コンサートホール、劇場、映画館、レストランなど複合文化施設の運用ノウハウを活かし、モデルケースを発信していきます。

・NTT

NTT 技術史料館内でショーケースを運営します。また、NTT研究所の最先端の研究成果をショーケースと組み合わせたトライアルを年度内に開始する予定です。

4. 「ミュージアム ICT ショーケース」で活用するサービス

- ・フレッツ光 (NTT 東日本)
- ・ギガらく Wi-Fi (NTT 東日本)
- ・ギガらくサイネージ (NTT 東日本)
- ・スマートデバイスマネジメント (NTT 東日本)
- ・Web セキュリティ診断 (NTT 東日本)
- ・スマート O2O サービス (エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社)
- ・ピッ！とロック (インヴェンティット株式会社)

5. 今後の取り組み

NTT 東日本と廣済堂は、ショーケースの取り組みを通して、個人のスマートフォンでの作品ガイドや、多言語対応サービスへの拡張といったラインナップの充実を検討し、ミュージアムでの ICT 活用を様々な側面から支援することで、ミュージアムの更なる魅力向上に貢献してまいります。

【別紙 1】Bunkamura 「ミュージアム ICT ショーケース」

【別紙 2】展覧会タブレットガイド

別紙1 : Bunkamura 「ミュージアムICTショーケース」

【開催期間】 2015年9月9日（水）～2015年12月7日（月）の期間限定
※Bunkamura ザ・ミュージアム「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展 開催期間中

ミュージアムの新たな楽しみ方、外国人観光客対応、業務利用をラインナップ



[Bunkamura]

ギガらくWi-Fi

Bunkamura館内を全館Wi-Fi化

- 一部エリアでの導入ではなく、全館Wi-Fi化することで
- ◎カバーエリアが分かりやすい、使いやすい
- ◎館全体のインフラとして、活用用途が広がる

[1] 来館者向けサービス

サイネージ：1F、6Fのショーケース特設コーナー

館内のお勧め情報をお届け！

- ・「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展PR動画
- ・館内ポータルサイト、無料Wi-Fiインターネット紹介
- ・災害時用の避難経路案内（災害時のみ表示）等



日本語、英語、中国語、韓国語対応

表示コンテンツにより対応言語は異なります

館内ポータルサイト&無料Wi-Fiインターネット：全館

Bunkamuraで過ごす時間がより快適で、充実したひと時に

- ・Bunkamura最新情報や鑑賞に役立つ読み物、動画などが満載の館内ポータルサイト
- ・無料Wi-Fiインターネット

SSID 0000Bunkamura-Portal



SSID選択



館内ポータルサイト



インターネット

日本語、英語対応

展覧会タブレットガイド：ザ・ミュージアム内 詳細は別紙2

アフターシックスの大人の時間はスマートで新しい名画鑑賞を

- ・展覧会をもっと楽しむタブレットガイド
- ・書き下ろしの限定コンテンツや作品ランキングで展覧会がもっと身近に



日本語のみ

[2] 業務利用

- 1Fインフォメーションカウンターで、タブレットを使った館内案内を実施
- 社内外のスタッフ向けネット接続環境

館内回遊促進・
ミュージアムへの誘導

別紙2: 展覧会タブレットガイド

9月25日（金）から金曜・土曜のアフターシックス限定

- 【利用場所】** Bunkamura ザ・ミュージアム 「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」
【利用可能期間】 2015年9月25日（金）～2015年12月7日（月）の毎週金曜・土曜 18:00～21:00 ※タブレットの貸し出しは20:00まで、入館は20:30まで
【利用料金】 520円（税込） ※ミュージアム入館には、別途、鑑賞券が必要
【貸出台数】 50台（先着順）

アフターシックスの大人の時間は、スマートで新しい名画鑑賞を

【主なコンテンツ】



【トップ画面】

- ・テキスト&画像付き音声ガイド
- ・星座メッセージ
- ・旅のエッセイ
- ・人気作品ランキング
- ・ミュージアムグッズ紹介
- ・アンケート



見どころ① 音声ガイド

榎木孝明がナビゲートする音声ガイド
(テキスト、画像付き)



見どころ② 星座メッセージ

石井ゆかりがひもとく
12星座の世界



見どころ③ 旅のエッセイ

山田五郎・福岡伸一・
原田マハによるエッセイ
『わたしの旅の風景』

【館内ツアーの流れ】

